

■貴志康一 作曲家。ベルリン・フィル指揮した夭折の天才。のち湯川秀樹ノーベル賞授賞式で「竹取物語」が演奏。

きしこういち

伊藤博文暗殺1909＝ 大阪の吹田の母の実家で生まれ、

淀川沿いで育ち、

明治天皇没・1912＝ 3歳：

本格政党内閣1918＝ 9歳：一家で芦屋に移住後、

大暴落・・・1920＝11歳：_来日したバイオリニストのエルマンの演奏を聞いてショックを受け、

原敬首相暗殺1921＝12歳：

_ロシアから亡命してアメリカへ渡る途中のバイオリニストのヴェクスラーの門下生となって猛練習、

_やがて、知人の勧めもあって、ヨーロッパへの留学を決意し、父の知人の紹介で、

円本時代始・1926＝17歳：神戸港を出発し、上海・ペナン等に寄港する船旅を楽しみながら、

金融恐慌・・・1927＝18歳：_スイス国立ジュネーブ音楽院に入学し、上達著しく、聴取テストで第一位になる。

共産党事件・1928＝19歳：_教授の薦めでドイツに移り、国立ベルリン音楽専門大学のカール=フレッシュに師事、

世界恐慌・・・1929＝20歳：*ストラディバリウスを購入して帰国するが、新聞取材攻勢に嫌気し、一時京都の妙心寺徳雲院に雲隠れ後、徴兵検査に合格し、バイオリニストとしてデビュー。

海軍軍縮条約1930＝21歳：_東京・京都・大阪で5回のコンサートを開くも、厳しい評価だったことから、再起をかけて再渡欧、

満州事変・・・1931＝22歳：_ヒンデミットが担当するラジオ科の映画音楽部門を聴講し、夜は演劇学校に通い、チェリスト斎藤秀雄ら留学中の日本人でピアノ三重奏の練習をするなどして飛躍、作曲も指揮もこなすようになって帰国。

五一五事件・1932＝23歳：_大阪の三木開成館から浪花民謡「赤いかんざし」「かごかき」を出版、作曲家としてデビューし、また渡欧。

帝人疑獄事件1934＝25歳：_ベルリンで指揮者で作曲家のモーリッツに師事して修業、

*日独協会後援の日曜コンサートで、遂にベルリン・フィルを指揮するという光栄に浴して大成功、日本人初となるドイツの楽譜出版社から歌曲集とバイオリンソナタ6曲を刊行。

芥川直木賞始1935＝26歳：*ドイツのレコード会社からは日本人初としてベルリン・フィルを指揮した自作の曲を録音後、帰国して、随筆「欧州航路三題」を発表。新交響楽団を指揮しての第一回演奏会で、暗譜と躍動で聴衆の度肝を抜く。

二二六事件・1936＝27歳：*日比谷公会堂で新響の「第九」を指揮し、女性ファンが殺到。来日したピアニストのケンプと新響との協奏曲も指揮するなど活躍したが、腹膜炎で入院し、

日中戦争始・1937＝28歳：_手術後、一進一退を繰返すうち、心臓麻痺で没した。